

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人 花山星空ネットワーク
評価実施年月日	2025 年 6 月 23 日
評価者氏名（職名）	太田 耕司 （京都大学大学院理学研究科教授）
評価対象年度（期間）	2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

（１）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：天体観望会事業	30%
		第2位：天体観測体験教室	25%
		第3位：刊行物やHPによる情報発信事業	15%
		このほかの事業	10%
	主たる事業以外の事業		—%
事業以外（管理部門等）			20%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「—」を記入

（２）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

（５）外部評価について

活動内容の評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

２ 法人に対する支援の状況

（１）寄附について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 寄附の呼掛け対象	当法人会員、イベント参加者
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	会誌毎号に「寄附のお願い」と郵便振込用紙を同封 ホームページでの募集 イベント参加者への呼びかけ
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：のべ76人 金額：1,223,000円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・○増・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由>会員への呼びかけを行ったため。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	会員・イベント参加者以外へ寄附依頼を広げる必要性がある。

（２）寄附以外の支援について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	ボランティア従事人数：のべ75人 従事時間数：450時間 従事内容：天体観望会で受付・引率・説明・望遠鏡での観望指導
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	京都市市民活動総合センター及びCANPAN提供の補助金・助成金情報の取得、子どもゆめ基金・大同生命厚生事業団からの助成金獲得
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	助成金申請、寄附サイトへの申請を行っているが助成にまでには至らないことが多い。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

京都大学理学研究科附属花山天文台の天体観望会などのイベントにボランティアを供給するなどして、協力をしている。また、京都大学学生邦楽演奏サークル「叡風会」と連携し、名月の天体観望会において邦楽演奏と組み合わせるなどを継続して積極的に実施していることを評価したい。なお、それぞれの行事は天文台と連携して開催されている。

また、京まなびネット、京都市市民総合活動センター、Canpan、京都市山科区の事業であるアプリ「やましなプラス+」に観望会・講演会などのイベント情報の掲載を依頼して地域へ活動を発信している（「やましなプラス+」は24年末で終了）。

さらに、新聞各紙へ依頼しイベントの案内が掲載されている。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

事業報告書・活動計算書・貸借対照表・財産目録がホームページで一般に公開されていて財務管理の透明性が保たれている。

理事会の開催については、2024年度は第62回（4月16日）、第63回（9月9日）、第64回（12月18日）、第65回（2月5日）と4回開催され、それぞれの理事会では議事録が作成されていて、理事会は正常に機能していると考えられる。

総会の開催については、第17回通常総会が2024年6月9日（日）に開催されている。書面表決者を含む過半数の正会員が出席し、2023年度事業報告・活動計算書、2024年度事業計画と活動予算書及び監事2名が1名への変更が可決承認され、議事録が作成されている。通常総会に先だって監事1名が活動計算書及び財産管理について監査を実施した上で、その結果を書面で報告している。

2023年度の財務状況では、大きな赤字となっていたが、人件費の抑制、通信費の削減などを工夫し、2024年度の財務状況は大きく改善されたことは評価される。引き続き、印刷費の削減（或いは販売数増加）等今後とも財務状況が安定するよう努力を続けて欲しい。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成金からの助成が 2 件続いて得られている。2025 年度も子どもゆめ基金助成金からの助成が 2 件決定している。
また、新たに大同生命厚生事業団からの助成金を獲得している。今後とも補助金・助成金の獲得に励んで欲しい。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
会誌の印刷費の削減について	会誌は会員と NPO を繋ぐ重要なもので本来、会費で運営し、充実させるべきものですが、現在、一定のページ数にするなどの工夫をしています。また、過去に減った広告を再度増やす努力を続けていきたいと考えています。
補助金・助成金の獲得について	民間助成金については応募をしていますが、獲得するに至らないことが多いですが、今後とも補助金・助成金の獲得に努めていきたいと考えています。

備考（審査委員会のコメント）

財政面では、黒字化に向けた人件費の抑制や通信費の削減に取り組まれており、寄附について、これまでの繋がりを大切にして継続的に取り組まれている点が評価できる。

また、今年度から、京都府の「ふるさと×NPO京どねーしょん（京都府ふるさと応援府民協働推進事業）」に参加するなど、更なる寄附獲得に向け、新たな取組にも挑戦されている点も評価できる。

引き続き、着実な法人運営と寄附等の収入増に取り組んでいただきたい。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価実施年月日	2025（令和7）年 7月 4日
評価者氏名（職名）	志藤 修史（大谷大学 教授）
評価対象年度（期間）	2024（令和6）年度（2024年4月1日～2025年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 （※１）
事業 （※２）	主たる事業	第１位：ひこばえ事業	25%
		第２位：児童館事業	25%
		第３位：放課後等デイサービス事業	25%
		第４位：就労継続Ｂ型事業・生活介護事業	25%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外（管理部門等）			%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
（表の合計は、100%となる。）

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「－」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（３）情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

（４）コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 寄附の呼掛け対象	会員 利用者
② 寄附を獲得するための取組・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	ホームページなどでも呼びかけるが、アナログ作戦で、寄附の趣旨を印刷した封筒など 昨年度クレカ決済ができるシステムを導入した。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：120件 金額：847,198円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から（78人 866,602円） （大幅増・増・ ほぼ増減なし ・減・大幅減） ＜理由＞ 寄附額としては減少しているが、より多くの人から寄附をいただいたことを評価している。寄附封筒キャンペーンの効果があつた
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	同じ人や役員からの繰り返しの寄附にとどまっている

(2) 寄附以外の支援について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 支援の概要 （ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など）	（ボランティアの場合 従事人数：217人 従事時間数：445時間 従事内容：学習支援、文庫、食堂などボランティア）
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	当法人では地域住民の集まるサークル活動などがあることから、地域の支援者も多い。自主事業を丁寧に行っていくことが工夫の一つと考えている。

③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	法人の活動趣旨である住民参加のかたちとしてのボランティアの概念への理解と浸透
-------------------------	--

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

(1) 活動の意義・成果等

法人設立から 20 年を迎えるにあたり、今後の事業展開について外部のコンサルに入ってもらいつつ法人活動と業務における職務分掌を見直しが行われたことは評価できる。赤ちゃんからお年寄りまでの居場所づくりの追求はカフェの改築などにより新たな展開がスタートしている。児童館や B 型事業所における、学習支援や食堂事業を通じて、多世代交流の萌芽見られる。今後も地域に密着した全世代型の居場所づくりの進展を期待する。なお、こども家庭庁の視察の受け入れなどで、事業内容の社会的な重要性の発信ができたことなどは大きな成果と考えられる。

(2) 社会に対しての活動成果の発信

活動成果の発信等については、HP、機関紙「フォーラムひこばえ」、月刊「うたの・ひこばえじどうかん」報などによって定期的に発信されている。地域社会の重要な社会インフラとして周辺地域からは認知されている状況の中、法人情報の公開・発信はいよいよ重要になっている。HP の充実、機関紙「フォーラムひこばえ」の発行頻度の拡充などを含む広報体制の強化は引き続きの課題である。

(3) 地域団体等の他団体との連携

コロナ以降中止していた「ひこばえまつり」が再開された。祭りの実行委員会では、職員が地域の人を巻き込む経験などを積んでいくことを重視した運営を行うなど、地域に根差した行事の実施を企画されている。これらの活動を通して多世代の人たちの地域での参加が広がるとともに、法人の事業や活動が地域の人びととの共同の地域づくりであることの理解が少しずつではあるが、着実に広がってきている。

4 法人の組織運営に関する所見 ※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

(1) 財産管理の透明性

2024年度会員総会において事業報告及び決算書、事業計画及び予算、監事監査報告書が審議、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

(2) 組織体制について

①総会・理事会

定款に基づき総会、理事会が運営され、それぞれの機関で適切に審議、意思決定がなされている。議事録も適切に作成され、保管されている。

②監事・監査

監事は第三者性、公正性を確保しており、定款に定める職務を遂行している。

③ 事務局体制等

2022年度から経理専門職員が配置され、さらに2023年度末から庶務・総務・労務担当職員が配置され、法人本部機能が少しずつ整備されてきたことは前進である。

法人は拠点施設がほぼ整い、長期の事業展開の土台ができてきた。前年度に指摘されている、中長期計画を策定し、その下で単年度計画を推進するという事業経営のあり方を確立する時期に来ている。この間、中長期計画策定の努力はなされ、理事長による「経営指針書」という形で中長期計画の素案づくりは行われたが、法人として理事会で協議決定した中長期計画とはなっていない。中長期計画の策定は特定の部署や個人に任せるのではなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していき、それを理事会や総会でオーソライズすることが必要である。そのためには昨年度も指摘したがいくつかの課題がある。1つは理事会における中長期計画策定についての合意形成であり、2つは職員研修における法人ミッションの再確認であり、それに基づいた職員集団での中長期計画の素案づくりの推進である。3つはそのためには事務局機能のさらなる強化が必要となる。このように中長期計画の策定も法人ミッションの共有も事業拡大のなかで、増大する職員が一つにまとまるために欠かせない課題である。さらに中長期計画の検討を通じて法人形態のあり方も課題となってくることは、引き続きの法人の課題である

④ 職員体制

前年度の指摘と同じく、事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。職員が集団のなかで力を発揮できるように、職務分掌の明文化と浸透が課題となっている。また法人も開設から20年が経過するなかで、世代継承を意識した管理職層の形成が課題となっている。そのためにも職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような人材育成の仕組みとともに体系的な育成プログラムづくりを急ぐ必要がある。

⑤危機管理体制

コロナ禍だけではなく他の感染症や自然災害による事業休止のリスクは高まっている。2023年度の作成のBCPについては、実際の研修などを通じた検証作業を進める必要がある。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

この間、施設整備に当たって多くの人びとに寄附を呼びかけ、多くの寄付や支援者を得てきた。それは一過性の施設整備という分かりやすい目標に対する寄付や支援であったが、前年度からは日常的な事業や活動に対する恒常的な寄付や支援を呼びかけるものとなっている。結果としては、前年度同様今年度も寄付額は減額している。しかし、法人の日常的な事業や活動に対する恒常的な寄付や支援を広げていくための呼びかけや広報は功をそうし、若干ではあるが寄付者数が増加している。今後も寄付額もさることながら、寄付者数を増やす努力に注目した活動を展開すべき時期に来ている。今まで以上に法人のミッションを見える形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。特に自主事業は法人のミッションの見せ場でもあり、利用者や地域住民とともに事業や活動の中味をつくり、財政的にも安定させることは、法人の今後に向けての試金石ともいえる課題である。こうした取り組みのもつ重要性を職員集団だけでなく、会員、利用者等のなかで共有できるようにして欲しい。

財政運営に関しては、今年度をもつての「いばしょ事業」の終了、法人独自事業における収支赤字、拠点施設整備における借受金の返済など今後の運営上懸念される内容が散見される。法人事業全体の有機的な連携、地域支援者の拡大を法人役職員一丸となって進めていく必要がある。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>中長期計画の策定は特定の部署や個人に任せるのではなく、職員集団の参加を伴いつつ具体化していき、それを理事会や総会でオーソライズすることが必要である。そのためには昨年度も指摘したがいくつかの課題がある。</p> <p>1つは理事会における中長期計画策定についての合意形成</p> <p>2つは職員研修における法人ミッションの再確認であり、それに基づいた職員集団での中長期計画の素案づくりの推進</p> <p>3つはそのためには事務局機能のさらなる強化が必要となる。このように中長期計画の策定も法人ミッションの共有も事業拡大のなかで、増大する職員が一つにまとまるために欠かせない課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでに 2026年3月 計画骨子 10月 計画立案 ・継続の頻度 毎年見直し、5年に1回 3年後、5年後、10年後のスケッチとそれに伴う財務計画 ・作成にあたっては、リーダーを中心とした作成委員会を結成し、役員会の合意を経て完成させていく ・項目については 法人運営 自主（ひこばえ）事業 公的制度に基づく事業
<p>前年度の指摘と同じく、事業規模が拡大する中で職員体制の量的・質的強化が求められている。職員が集団のなかで力を発揮できるように、職務分掌の明文化と浸透が課題となっている。また法人も開設から20年が経過するなかで、世代継承を意識した管理職層の形成が課題となっている。そのためにも職員の採用、育成等を担う人事・研修委員会のような人材育成の仕組みとともに体系的な育成プログラムづくりを急ぐ必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職務分掌の明文化と浸透 策定した職務分掌の共有とそれに基づく評価 法人ミッション浸透のための・・・座談会や勉強会を開催する ・人事、研修委員会 人材育成システムの構築 運営委員会にて策定予定
<p>2023年度の作成のBCPについては、実際の研修などを通じた検証作業を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度防災委員会でのミッションとなっている 2025年度中に検証作業をすすめる

<p>今後も寄付額もさることながら、寄付者数を増やす努力に注目した活動を展開すべき時期に来ている。今まで以上に法人のミッションを見える形で発信し、利用者や地域社会での共感を広げていく必要がある。特に自主事業は法人のミッションの見せ場でもあり、利用者や地域住民とともに事業や活動の中味をつくり、財政的にも安定させることは、法人の今後に向けての試金石ともいえる課題である。こうした取り組みのもつ重要性を職員集団だけでなく、会員、利用者等のなかで共有できるようにして欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付者への報告を行う 寄付がどれくらい集まっているか 寄付を使ってどんなことをしているか ・ 寄付者への事業進捗状況の報告 2025年11月に新たな寄付のお願いと報告
<p>年度をもつての「居場所事業」の終了、法人独自事業における収支赤字、拠点施設整備における借入金の返済など今後の運営上懸念される内容が散見される。法人事業全体の有機的な連携、地域支援者の拡大を法人役職員一丸となって進めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人全体 諸経費の節約 予算の計画的な執行 効果的な寄付集め ・ 公的事业 【児童館】学童利用者増 ニーズから新規事業へ 【放課後】利用者数維持+α 体制の維持と開所日数増への取り組み 【就労】新規利用者+3名/日を目指して広報、拠点送迎などの工夫 【生活介護】利用者増に向けての取り組み ・ 自主事業 Café を使った自主事業展開 売店での収益 地域住民組織化を目指して

備考（審査委員会のコメント）

昨年度から引き続き課題となっている中長期計画の策定については、地元根付いた活動に取り組んでいる法人であることから、職員だけでなく、利用者やその家族など関係者の意見を聞くことも検討いただきたい。

また、計画の策定を職員間の対話の機会として捉え、現場感覚を大事にしながら今後の方向性を自分たちで作り出すだけでなく、職員同士の結束が強まるよう、プロセスを大事にして進めていただきたい。

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人F a S o L a b o 京都
評価実施年月日	令和7年6月25日
評価者氏名（職名）	杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）
評価対象年度（期間）	令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	■	□	■	□
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	■	□	■	□

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
■	□	■	□

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：(地域子育て支援拠点事業)	40%
		第2位：(食物アレルギーサポートデスク)	30%
		第3位：(若者研究)	10%
		このほかの事業	%
	主たる事業以外の事業		%
事業以外（管理部門等）			20%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「－」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	□	■	□
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	■	□	■	□
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	□	■	□

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>

（３）情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

（４）コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	■	<input type="checkbox"/>	■	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	■	□	■	□
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	■	□	■	□

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	■	□	■	□
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	■	□	■	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 寄附の呼掛け対象	食物アレルギー支援を行う企業、食物アレルギーに関心がある人、当法人のイベントに参加した人、つどいの広場利用者など
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け 等）	寄付サイト（コングラント）、イオンレシートキャンペーンへの登録、H20 サンタ NPO フェスティバルや学会への出展の他、ホームページ・ニュースレター、イベントでの呼びかけ。地域のお祭りでの啓発活動による募金活動など。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：6社3団体32名 金額：472,386円
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・ 増 ・ほぼ増減なし・減・大幅減) <理由> 当法人の理事や、少額ながらも地域のボランティアやつどいの広場利用者からの寄附が多くあったため。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	少額の寄付も引き続き積み重ねていき、団体の活動内容と合わせて、その活動が寄付で支えられていることへの認知を広めていく必要がある。

(2) 寄附以外の支援について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	■	□	■	□
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	■	□	■	□

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	【補助金・助成金】 2024年度第1期ニッポンハム食の未来財団 団体活動助成、ファイザープログラム「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」による助成 【ボランティアの状況】 従事人数：22名

	従事時間数：347.5時間 従事内容：イベント開催時の準備・当日運営の補助、 つどいの広場での来所者対応、事務作業補助 【企業・個人による食物アレルギー配慮商品の提供】 4社1団体 60,371円
② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	インターン大学生の受け入れによる活動の周知 イベントに参加された方に声掛けし、日常的にボランティアとして受け入れている 地域の子育てサークル・ボランティア団体との連携
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	ボランティアを受け入れるための、職員のマンパワー不足、企業等への当法人の認知不足

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

FaSoLabo 京都は、2005年の任意団体設立以降、20年に渡り、食物アレルギーの子供とその家族のQOLの向上およびその社会的理解を広げるべく、事業活動を行っている。

とりわけ令和6年度については、主たる財源となっている受託事業「つどいの広場」（654組、延べ1545人の利用）では、様々な年間講座・イベントが実施され、利用者も昨年度より増えていることを確認した。

次に「社会的理解」分野では、「どれみ隊プロジェクト」が3年目を迎え、小学生や中学生など子どもたちが主体となる活動を積極的に行なっていることを確認した。また、ファイザー株式会社助成による「食物アレルギーの子どもが必要としている子ども視点の自立支援の調査研究」が着実に進んでいることも確認した。その他、第40回日本小児臨床アレルギー学会に参加し、活動紹介ブース出展をしたことも特筆すべきである。

続いて、「支援者支援」分野では、食物アレルギー相談援助研究会が2回開かれたことを確認した。

最後に「当事者支援」分野では、ニュースレターの発行（年3回）、ホームページにおける活動の発信、保護者交流会の開催（年3回）などの取組が行われていることを確認した。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

（1）収益構造の改善について

財務管理の透明性については、2024年度は680,560円と2年連続で当期正味財産を黒字化できており良い傾向である。一方、次期繰越正味財産額は△561,967円残っている。この額をさらに減らせるよう引き続き創意工夫を期待したい。

（2）新たな理事構成の準備について

組織体制の状況については、2024年度は職員1名の離職、理事1名の退任があったこと、また新しい職員を迎え入れたことを確認した。ただし、理事数については、現行の理事数は定款で定める数（5～9名）のギリギリであり、ややリスクがある。現在、候補で名前が挙がっている4名の方には確実に新役員（理事3名、監事1名）となって頂けるよう、交渉を期待したい。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

(1) 安定的な助成金の獲得について

2022年度は300万円を超えていた助成金が、2023年度は約240万円、2024年度は約120万円と毎年減少してきている。一方、業務委託料は例年700～750万円程度であり、安定しているものの、大幅な増額は見込めない。ついては、新しい助成金（2025年度の活動予算書上は0円となっているが）や寄付収入、あるいは事業収入を増やすことが重要である。引き続き安定財源を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。

(2) 寄付金の獲得のための仕組みづくりについて

寄付金については、2022年度294,666円、2023年度137,436円と、2024年度は288,386円とやや安定性に欠ける現状となっている。監事からの指摘もあるように自由に使える資金は組織にとって重要である。新しい寄付金を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
財務管理の透明性については、2024年度は680,560円と2年連続で当期正味財産を黒字化できており良い傾向である。一方、次期繰越正味財産額は△561,967円残っている。この額をさらに減らせるよう引き続き創意工夫を期待したい。	2025年度の事業計画では、サポートデスクの事業をつどいの広場事業に組み込むことで、イベント数が減り、支出の削減に繋がり、予算は754,334円の黒字を見込んでいる。イベント数は減るが、つどいの広場で食物アレルギーの予防について啓発することで、食物アレルギーの支援をしている団体の役割を果たしたい。
組織体制の状況については、2024年度は職員1名の離職、理事1名の退任があったこと、また新しい職員を迎え入れたことを確認した。ただし、理事数については、現行の理事数は定款で定める数（5～9名）のギリギリであり、ややリスクがある。現在、候補で名前が挙がっている4名の方には確実に新役員（理事3名、監事1名）となって頂けるよう、交渉を期待したい。	候補者1名については、既に内諾をいただいた。他3名については、今後打診する。
2022年度は300万円を超えていた助成金が、2023年度は約240万円、2024年度は約120万円と毎年減少してきている。一方、業務委託料は例年700～750万円程度であり、安定しているものの、大幅な増額は見込めない。ついては、新しい助成金（2025年度の活動予算書上は0円となっているが）や寄付収入、あるいは事業収入を増やすことが重要である。引き続き安定財源を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。	職員体制を考えると、新たに助成金を申請するのは難しい。 また2025年度の計画では、サポートデスク事業をつどいの広場事業に取り組むことで、事業費の多くを京都市からの業務委託料で賄う予定であり、助成金の申請は必要ない考える。

<p>寄付金については、2022 年度 294,666 円、2023 年度 137,436 円と、2024 年度は 288,386 円とやや安定性に欠ける現状となっている。監事からの指摘もあるように自由に使える資金は組織にとって重要である。新しい寄付金を獲得できるよう、引き続きの努力を期待したい。</p>	<p>2025 年度は既に阪急阪神ホールディングスの社内寄付により、401,800 円の寄付があった。今後は、ボランティアの協力も得て、イオンのレシートキャンペーンや、H20 の寄付イベント等への参加や、寄付サイトコングラントでの使途を限定した寄付や、会費＋αの寄付がいただけるように活動の周知に努めたい。また、つどいの広場の利用者に当法人が食物アレルギーの支援を行っている団体であり、その活動が寄付で支えられていることを周知し、寄付の増加を図る。</p>
---	--

備考（審査委員会のコメント）

<p>資金調達に関しては、様々な手段を活用し、企業からも寄附や助成金を獲得している点が評価できる。</p> <p>新しい理事を加えて役員体制を盤石にし、更に法人の専門性を高め、ネットワークを広げていただきたい。</p>

特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人京都 DARC
評価実施年月日	2025 年 7 月 2 日
評価者氏名（職名）	松田 美枝（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科教授）
評価対象年度（期間）	2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

1 法人の事業活動、組織運営等に関する状況

（1）事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 各事業年度の事業計画は、組織的な合意形成（総会・理事会等）に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための事業を主たる事業として実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目			法人全体の労力のうち 各項目が占める割合 (※1)
事業 (※2)	主たる事業	第1位：自立（生活）訓練事業	40%
		第2位：共同生活援助事業	35%
		第3位：講演事業	10%
		このほかの事業	5%
	主たる事業以外の事業		5%
事業以外（管理部門等）			5%

※1 例：総従事時間数に占める各事業及び事業以外（管理部門等）への従事時間数の割合
(表の合計は、100%となる。)

※2 実施している事業の数の関係などで、「主たる事業」の「第2位」、「第3位」、「このほかの事業」欄及び「主たる事業以外の事業」欄に記入する内容がない場合は、「－」を記入

（2）組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき、総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】 定款に定める権能に基づき、理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し、議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また、総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか（予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか等）。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（３）情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧することができる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

（４）コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供の場合は、介護保険法）など。

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 法人に対する支援の状況

(1) 寄附について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 法人の事業活動のため、寄附の募集を行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② より多くの寄附を受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 寄附の呼掛け対象	当事者家族、障がい者支援員、弁護士、市民等
② 寄附を獲得するための取組 ・工夫（会報誌や法人ホームページで募集、イベントでの呼掛け等）	年に6回のニュースレター発行。 ボランティアへの参加。 フォーラムや学校講演等の啓発活動の取り組み。 インターネット寄付の導入。
③ 評価対象年度における寄附者の人数及び金額	人数：68名 金額：¥1,092,879
④ 寄附金の増減及びその理由	評価対象年度の前年度から (大幅増・増・ほぼ増減なし・ 減 ・大幅減) <理由> 地域のイベント参加やボランティア活動、講演活動など、さまざまな取り組みを継続しているものの、実際に施設内で利用者が依存症からの回復に向けてどのような努力を重ね、どのような葛藤と向き合っているのかについては、十分に伝えきれていない、現状がある。
⑤ 寄附の獲得に取り組むうえでの課題	今年度は、新たな啓発の取り組みとして、小学校高学年や中学生を対象に、「生きづらさとは何か」をともに考える契機となる講演を実施する。これに伴い、より多くの教育関係者に向けて、寄付の協力を呼びかける。

(2) 寄附以外の支援について

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 寄附以外に、市民、地域団体、行政等から何らかの支援（ボランティア、法人実施事業への協力、補助金・助成金等）を受けているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② ①の支援をより多く受けるための工夫を積極的に行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ ①の法人自己評価が「はい」の場合、以下の項目について記入

項 目	法 人 記 入
① 支援の概要 (ボランティアの場合は従事人数、従事時間数、従事内容など)	(ボランティアの場合 従事人数：4名 従事時間数：48時間 従事内容：イベントでの飲食販売におけるお手伝い)

② 寄附以外の支援を獲得するための取組・工夫	SNS を用いた情報発信。ニュースレターでの活動報告。社会貢献活動への積極的な参加。
③ 寄附以外の支援の獲得に取り組むうえでの課題	薬物依存症に対する社会的偏見をなくすこと。薬物依存症への誤解を緩和させる活動を検討し続けること。

3 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など。

フードバンクの箱詰め等のボランティアや、高校や企業と連携しての活動、京都文教大学学生とのアクセサリ作り、精華大学と連携しての啓発マンガ作り、地域のお祭りに出店しての飲食物の販売など、これまで実施してきた地域活動や普及啓発活動等を引き続き行っている。

また、グループホーム設立時に反対運動が行われた町内会とも交流が再開されている。これはひとえに、京都ダルクが地域で上記のような地道な活動を行い続けてきたことが地域住民に伝わり、認められたことによるものと思われる。

さらに、これまでは場所を借りて行っていた畑作業については、新たに農地を購入して農産物を育てようとしており、新規の事業展開がみられる。それにより入所メンバーのプログラムとしてや、作った野菜の販売などを通して、京都ダルクの活動が活性化されるものと思われる。

4 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など。

デイセンターやグループホームの運営、各種相談活動、普及啓発講演会、司法施設への講師派遣、京都府・京都市との共同事業の実施、ニュースレター等の発行、地域でのボランティアや農作業体験、施設内外での研修等、各種事業が滞りなく運営されており、組織体制は盤石であるものと思われる。また、財務管理も透明性が維持されており、不正や違反事項は認められない。

5 法人に対する支援に関する所見

※ より多くの寄附や寄附以外の支援を受けるための工夫をしているかなど。

ホームページにアップされている日常紹介動画は、学校での普及啓発にも有効であり、京都文教大学においても学生の京都ダルク訪問に先立って皆で視聴し、体験談と同等の効果を得ることができた。そのため、大学等でのオンデマンド教材としての活用を促進しても良いものと思われる。

また、現在作成中のマンガも、小学校高学年と中学生に加えて、多くの年代への普及啓発に活用できるものと思われる。

《評価対象法人記入欄》

6 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
特になし	

備考（審査委員会のコメント）

継続的に一定の寄附金を集めておられることが評価できる。更なる収益増に向け、法人が、事業として、大学等と連携して製作する啓発マンガやその他の物品などの配布を寄附とセットにする等、利用者以外からの寄附拡大に向けた工夫を検討いただきたい。